

協和トピックス

経済産業省から会社の「健康診断」を行うツール（道具）として、ローカルベンチマーク（通称「ロカベン」といいます。）が発表されました。「ローカル・アベノミクス」を推進する施策として、企業の経営者等と金融機関・支援機関が、企業の経営力評価と経営改善に向けた対話を深める入口として使われるためのツールです。今回はその概要と活用事例をご紹介します。

ロカベンは、数字から得られる「財務情報」と、数字からは見えない「非財務情報」から会社の経営力や事業性を簡単に把握、理解することができる企業分析の簡易ツールです。経済産業省のホームページで「ロカベン」と検索すれば直ぐに見つかります（http://www.meti.go.jp/policy/economy/keiei_innovation/sangyokinyu/locaben/）、**ロカベン**は将来に向けた経営計画のスタートになります。

財務情報

財務情報は、14の数値データを入力することにより下の図のように、会社の経営

状況を同業他社と比較して一目でわかるようになっています。

下記の財務分析診断結果を例にとると、資金の回転と営業利益率は同業他社並みですが、過去の利益の蓄積により自己資本比率は厚くなっていて、借入の返済期間も同業他社よりも短いので財務的には健全であるものの、売上高は減少等傾向にあるとともに労働生産性も他社と比べると少し弱いのではないかとことがうかがわれます。この結果から、財務が健全なうちに、売上の増加策や生産性の向上に力をいれるなどの施策が考えられ、今後の展開への一つのヒントになります。



企業の健康診断ツール ローカルベンチマーク

■財務指標

指標	算出結果	貴社点数	業種平均値	業種平均点数
①売上増加率	1.4%	2	3.7%	3
②営業利益率	1.5%	3	1.5%	3
③労働生産性	446(千円)	2	752(千円)	3
④EBITDA有利子負債倍率	2.1(倍)	5	6.4(倍)	3
⑤営業運転資本回転期間	1.3(ヶ月)	3	1.2(ヶ月)	3
⑥自己資本比率	35.4%	4	26.5%	3
総合評価点	19	B		

※1各項目の評点および総合評価点は各項目の業種平均値からの距離を示すものであり、点数の高低が必ずしも企業の評価を示すものではありません。非財務指標も含め、総合的な判断が必要なおことにご留意ください。
※2総合評価点のランクはA：24点以上、B：18点以上24点未満、C：12点以上18点未満、D：12点未満

■基本情報

商号	株式会社○○	売上高	4,950,128(千円)
所在地	東京都○○	営業利益	75,819(千円)
代表者名	○○ ○○	従業員数	170(人)
業種（選択）	小売業		

財務分析診断結果

①売上増加率 (売上持続性)

②営業利益率 (収益性)

③労働生産性 (生産性)

④EBITDA有利子負債倍率 (安全性)

⑤営業運転資本回転期間 (効率性)

⑥自己資本比率 (安全性)

Legend: 貴社点数 (Red line), 業種平均点数 (Blue dashed line)

財務情報は、会社の成長性や持続性等を把握し、対話を行うためのきっかけとなるように6指標に絞られています。詳しくは担当者にお尋ねください。

6つの指標※

- ① 売上高増加率 **(売上持続性)**
- ② 営業利益率 **(収益性)**
- ③ 労働生産性 **(生産性)**
- ④ EBITDA 有利子負債倍率 **(健全性)**
- ⑤ 営業運転資本回転期間 **(効率性)**
- ⑥ 自己資本比率 **(安全性)**

※①から⑥の計算式はロカベンの「入力シート」に記載がありますので参考にしてください。

非財務情報

非財務情報は、会社の現在までの姿を映す財務情報を補完し、将来の可能性を考えるためのもので、次の4つの着眼点に絞られています。枠内はその一例です。

1 経営者への着目

会社経営では経営者の影響が大きく、経営者の優劣が企業の優劣を左右する面があります。

◆経営者のビジョンを明確にして、それを社内で共有する機会を設けていますか。
◆後継者と将来の会社について語り合っていますか。

2 関係者への着目

会社が何で収益を上げているのか、どのような仕組みかという点が重要です。

◆会社の利益を生み出す価値の源泉はどこにありますか。◆他社より優れている(強味)のは何ですか、なぜそれが強みなのか把握しましょう。◆その強みへの脅威となる懸念は技術革新・市場ニーズ・地域等の外部要因によるものですか。

3 事業への着目

会社を取り巻く市場環境や販売先・従業員等の状況を把握します。

◆お客様から選んでもらっている理由を把握していますか◆競合他社の動きを知っていますか。

4 内部管理体制への着目

会社全体の方向性や経営目標が共有されているかを確認することも大切です。

◆経営目標を共有するためにどのような取組をしていますか。◆社内でやるべき職務が明確になっていますか ◆従業員の定着率やITの能力向上のため対策に取り組んでいますか。

<活用事例>

○経済産業省中小企業庁「経営力向上計画」※に**ロカベン**の財務指標を活用されています。

※「経営力向上計画」は、ものづくり補助金の認定における加点要素であり、固定資産税の軽減や、各種金融支援を受けることができます。

○厚生労働省「労働移動支援助成金」の優遇助成では、**ロカベン**「B」以上であることが要件の一つです。

○金融庁「金融仲介機能のベンチマーク」では金融機関の**ロカベン**等を活用による事業性評価件数が評価項目の一つです。

国は、ロカベンを活用して生産性向上に努める企業に対し、成長資金を供給するよう促していく方針ですので、今後も活用が広がると予想されます。

この機会に、会社の健康診断をいたしましょう。私たちは、貴社のかかりつけ医であり、会計税務の専門医です。**ロカベン**をもとに、ご一緒に会社の健康診断を行い、診断結果から、問題の早期発見・早期対応につなげていきましょう。